

メディア芸術がひらく未来 -アニメーションから考える日本の文化と創造-
／ 代々木アニメーション学院 【映像・演劇・演芸】

アニメーション、マンガ、ゲーム、映像などの「メディア芸術」は、単なる娯楽にとどまらず、時代の価値観や人々の感性を映し出し、新しい文化や表現を生み出してきました。本講座では、日本のアニメーションを入り口に、絵・声・音楽・物語・映像技術など、異なる表現が組み合わさることで一つの作品が生まれる過程を紹介します。また、デジタル技術や AI の進展によって表現の可能性が広がる一方、人が物語をつくり、感情や価値観を表現することにはどのような意味があるのかを考えます。

1 対象者

(1) 中学生 (2) 高校生

2 派遣できる地域

埼玉県内全域

3 実施可能な曜日

いつでも

実施可能な時間帯 11 時～18 時

4 鑑賞の内容

アニメーションやマンガなどのメディア芸術を通じて、日本の表現文化の魅力を学ぶ講演会です。作品を形づくる絵・声・音楽・物語の役割や、デジタル技術が広げる新しい表現の可能性について紹介します。

5 開催会場にお願いしたいこと

- ① 学校の教室や大きめの会議室程度の広さ (100 平方メートル～ 要相談)
- ② 会場内で音が届くだけの音響設備
- ③ 会場内の人が全員見られるようなモニター設備 (もしあれば)

6 開催に必要な経費

講師交通費のみ